

決算補足説明資料

2025年3月期

株式会社 電業社機械製作所
証券コード 6365

2025年 5月15日



1	創業115周年を迎えて	P. 3
2	2025年3月期連結決算の状況	P. 6
3	中期経営計画2025の進捗状況	P. 11
4	株主還元	P. 20

1 創業115周年を迎えて





『いいご縁を これまでもこれからも』

電業社機械製作所は2025年に115周年を迎えます。

お客様、株主、投資家など、ステークホルダーの皆様のご支援のお陰でこの節目を迎えられたことに感謝申し上げます。

これからも「いいご(115)縁」を大切にし、皆様と共に未来へ進んでいきます。
今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

創業115周年を迎えて “ いいご縁を これまでもこれからも ”

- 創業115周年を迎えるにあたって、**記念サイトを開設しました** (<https://www.dmw.co.jp/115th/>)



2 2025年3月期 連結決算の状況





- 当社グループの当連結会計年度における受注高は、前連結会計年度比91.3%の267億49百万円となりました。
- 売上高は、前年度からの受注残の売上が順調に進捗したことから、前連結会計年度比**116.5%**の**280億77百万円**となりました。
- 営業利益は前連結会計年度比**141.7%**の**32億35百万円**、経常利益は同**138.4%**の**34億円**となりました。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は同**138.6%**の**24億26百万円**となりました。

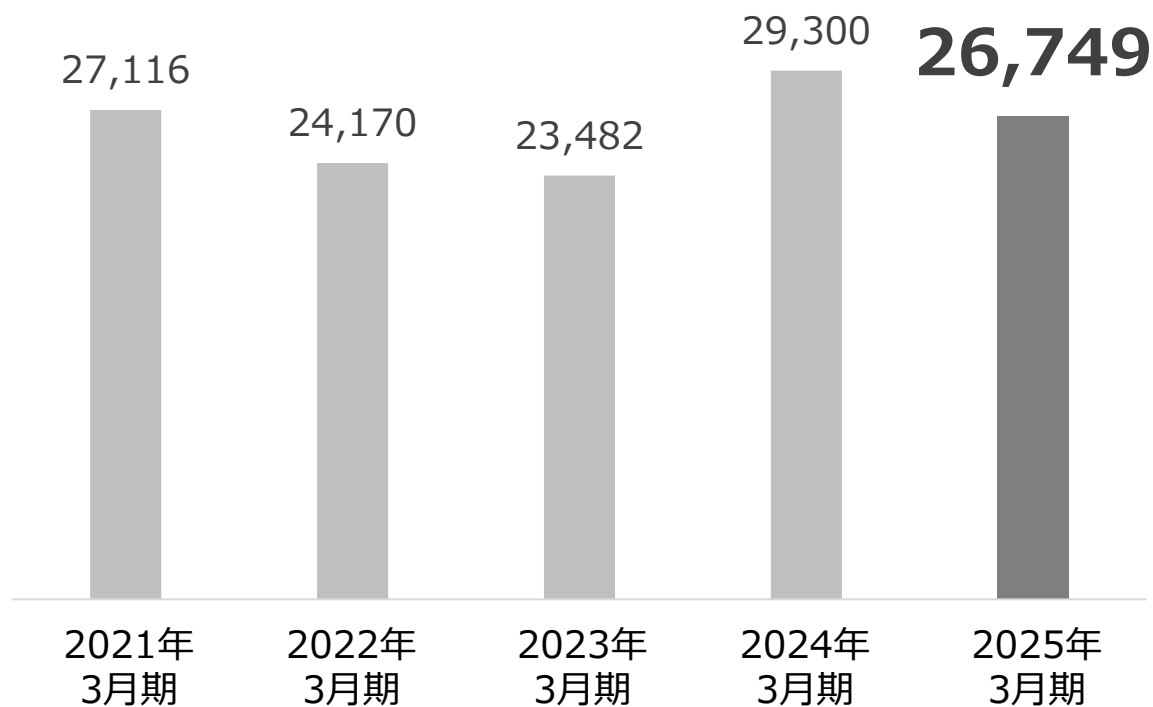
単位：百万円

連結経営指標	2024年3月期	2025年3月期	前期比 (増減額)
受注高	29,300	26,749	△2,551
売上高	24,096	28,077	3,981
営業利益	2,283	3,235	952
売上高営業利益率	9.5%	11.5%	+ 2.0pt
経常利益	2,457	3,400	943
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,750	2,426	676

- 受注高、売上高の推移は以下の通りです。**売上高は過去最高額**となりました。

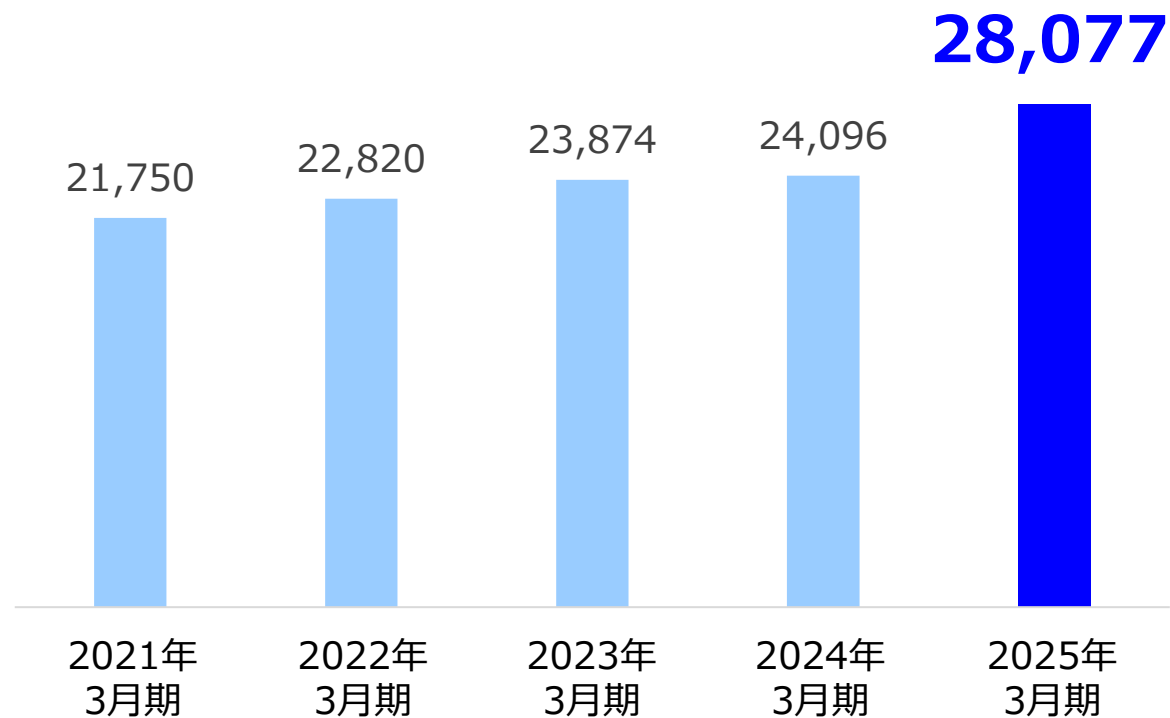
受注高の推移

単位：百万円



売上高の推移

単位：百万円

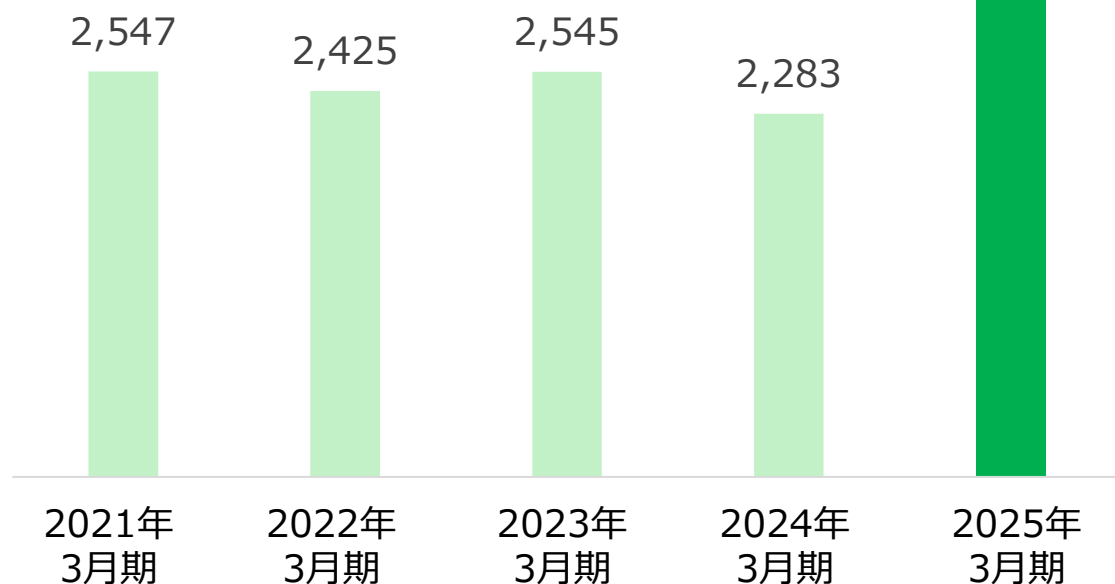


- 営業利益および営業利益率の推移においても、**営業利益は過去最高額**となりました。
- **売上高営業利益率も過去最高水準**となりました。

営業利益

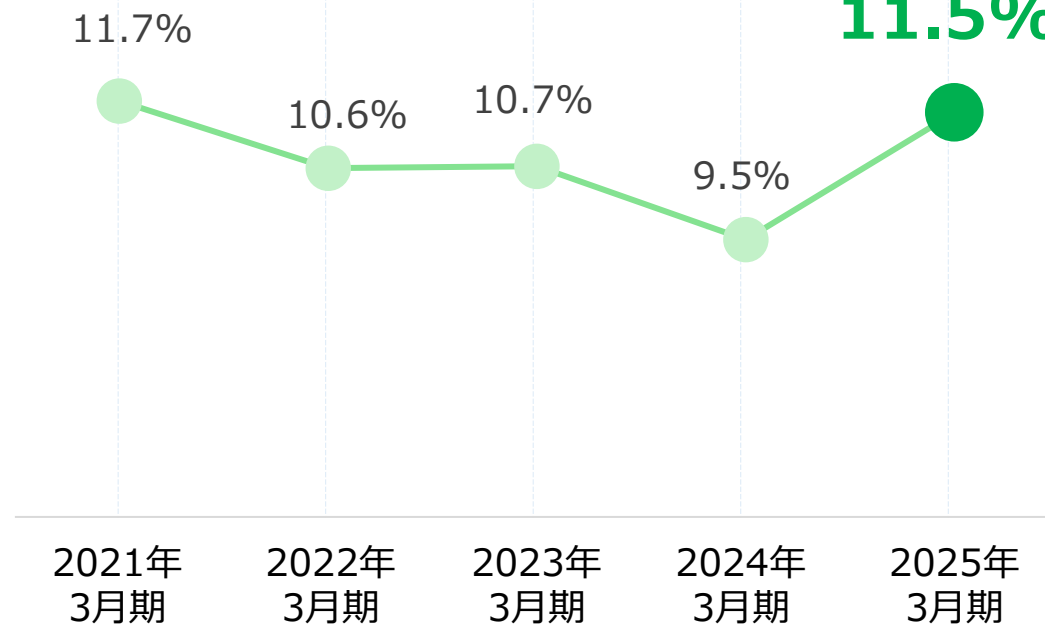
単位：百万円

3,235



売上高営業利益率

11.5%



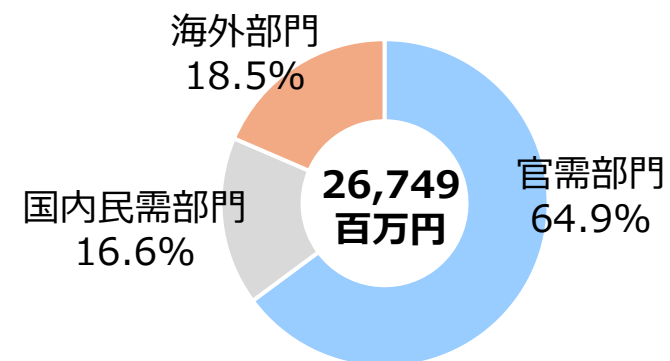
- 部門別の受注高は、**国内民需部門は増加**しましたが、官需部門と海外部門が減少しました。
- 部門別の売上高は、**官需部門と海外部門が増加**しました。

部門別受注高

単位：百万円

	2024年3月期		2025年3月期	
	実績	構成比	実績	構成比
官需部門	19,716	67.3%	17,348	64.9%
国内民需部門	3,681	12.6%	4,443	16.6%
海外部門	5,902	20.1%	4,956	18.5%
受注高	29,300	100.0%	26,749	100.0%

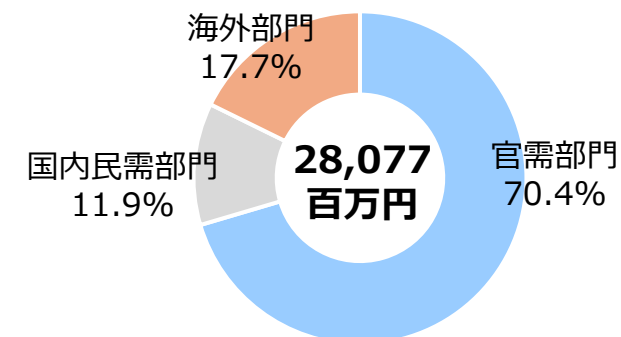
2025年3月期 部門別受注高の部門割合



部門別売上高

官需部門	17,703	73.5%	19,773	70.4%
国内民需部門	3,478	14.4%	3,325	11.9%
海外部門	2,914	12.1%	4,978	17.7%
売上高（販売実績）	24,096	100.0%	28,077	100.0%

2025年3月期 部門別売上高の部門割合

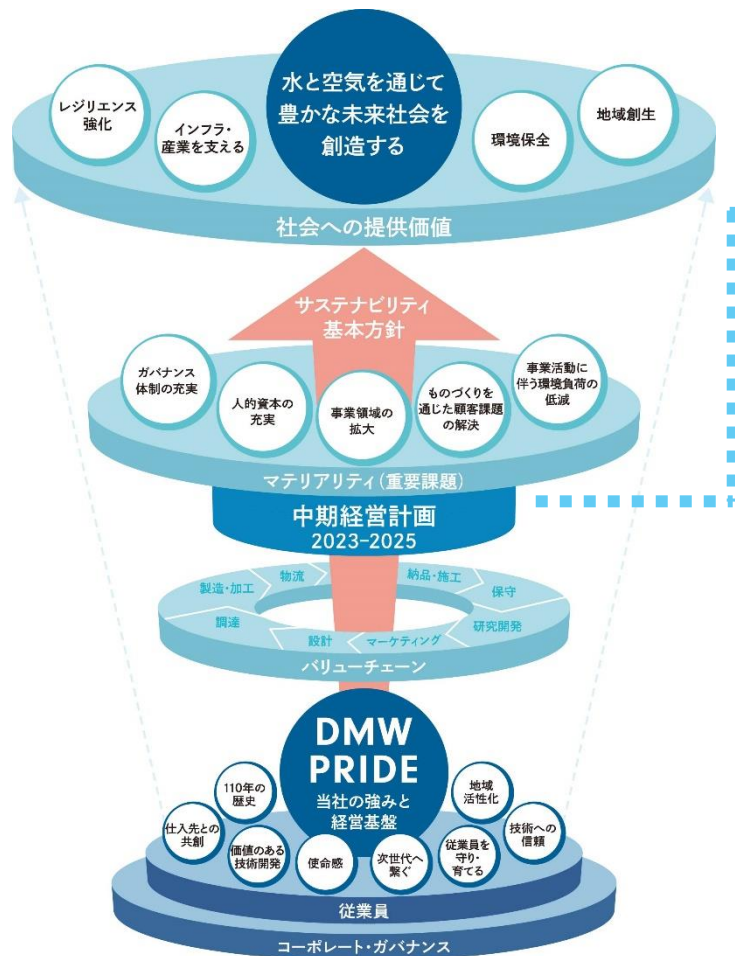


3 中期経営計画2025の進捗状況



DMWの価値創造

電業社グループは、お客様やお取引先様、地域社会の皆様、従業員など、あらゆるステークホルダーの皆様と培ってきた経営基盤を強みとして、「水と空気を通じて豊かな未来社会を創造する」というパーパスを実現します。



中期経営計画2025

Powering Passion
その情熱を力に。

- 2023年度から3年計画で取り組む「中期経営計画2025」を策定しています。
- 本中期経営計画では“Powering Passion”「その情熱を力に。」をスローガンに掲げ、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、目標達成を目指します。

連結経営指標	受注高	海外受注比率	営業利益	売上高営業利益率	ROE	配当性向
目標値※	270億円	20%	27億円	11%	9%	30%

※2023年5月15日に公表した目標値

最重要課題

- グローバル事業領域の拡大
- グローバル市場に対応する生産効率の追求
- コア事業の安定収益体制化
- 人的資本経営の実践
- 持続可能な社会との共存共栄



- 2025年3月期は、中期経営計画の目標に対して以下の通りとなりました。

単位：百万円

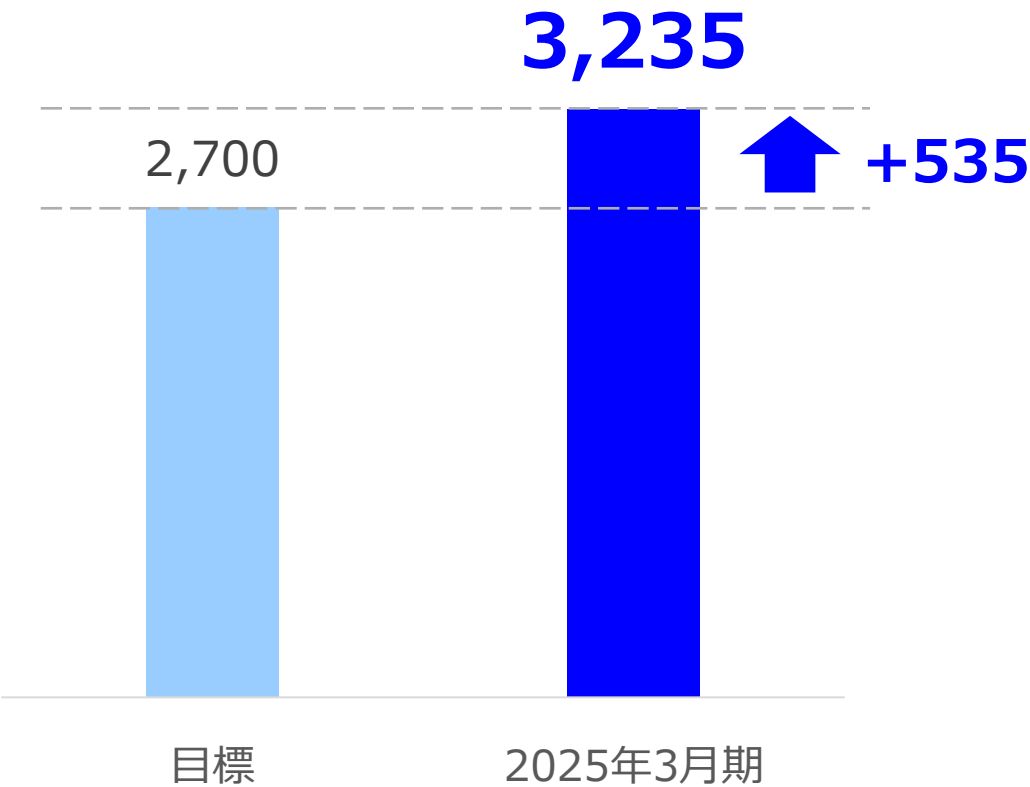
連結経営指標	目標値※	2025年3月期
受注高	27,000	26,749
海外受注比率	20%	18.5%
営業利益	2,700	3,235
売上高 営業利益率	11%	11.5%
ROE	9%	9.0%

※2023年5月15日に公表した目標値

DMW Corporation, All right reserved

営業利益

単位：百万円



- 中期経営計画の2年目となる2024年度は、
グローバル事業領域の拡大と持続可能な社会との共存共栄に向けた施策に注力し、取り組みを推進しました。

No.	最重要課題	重要課題	2024年度の計画	実績・取り組み
1	グローバル事業領域の拡大	グローバル展開の基盤となる戦略的製品の強化	脱炭素市場向けポンプの開発検討	- 地熱発電分野、バイオマス発電分野向けポンプ、送風機の製品競争力の強化 - CCS、CCUSへの取り組み - 小水力分野への展開
2	グローバル市場に対応する生産効率の追求	バリューチェーン効率化による生産性向上	- DMWインド社の生産設備増強 - デジタル技術を活用した業務効率化	- DMWインド社 受電容量拡大による製造から試運転までの一貫生産体制の構築 - 生産管理システムの運用開始 - 既存製品データベースを活用したP&Mビジネスの拡充
3	コア事業の安定収益体制化	風水力機械市場でのシェア拡大	- 競争優位製品の採用に向けた積極的な提案活動 - 既存顧客の課題解決を目指したP&Mビジネスの拡充	- 競争優位製品（AM-Turbo、ラムダ等）の積極的な提案営業の実施 - 長寿命化や信頼性向上等の付加価値を最大化するための改善提案の実施
4	人的資本経営の実践	安全・安心で働きやすい職場づくり	健康経営優良法人2025認定（大規模法人部門）に向けた取り組み	- 健康経営優良法人2025の認定取得 - 職場環境創造・女性活躍プロジェクト
5	持続可能な社会との共存共栄	環境負荷低減に向けたものづくりの事業体制確立	既存製品の省エネ・高効率化と高付加価値製品の開発	- 水処理設備用エネルギー回収装置「DeROs-E™」の販売開始 - 既存製品の高効率化・省エネ化 - ポンプ一体型渦流防止装置の開発

グローバル展開の基盤となる戦略的製品の強化

地熱発電分野への展開

■ 地熱発電の仕組み

地下のマグマ熱により発生した水蒸気を利用してタービンを回し発電する仕組みです。

■ 今後の展開

当社は、これまで**地熱発電所用ポンプ**を多数納入しています。今後は、**アフリカをはじめとした海外への納入を強化**していきます。



地熱発電所用温水ポンプ

バイオマス発電分野への展開

■ バイオマス発電の仕組み

動植物から作り出される有機性のエネルギー資源を燃焼させる、あるいは一度ガス化して燃焼させて水蒸気を発生させ、その水蒸気でタービンを回し発電する仕組みです。

■ 今後の展開

当社は、これまで**バイオマス発電用循環水ポンプ**や**ボイラ用ファン**を多数納入しています。今後は、各製品の**運転効率を高め、CO₂排出量の削減に貢献**しています。



バイオマス発電用循環水ポンプ

バリューチェーン効率化による生産性向上

DMWインド社の生産設備増強

【大型多段高圧ポンプの製造から試運転までの一貫生産体制】

- DMWインド社は2014年10月にインド・ムンバイに設立された後、2017年7月にインド・プネに工場を新設しました。
- その後、プネ工場では「Make in India」を掲げて国内生産を推進するインド政府の方針に対応すべく工場拡張工事を進めてきました。
- 受電容量も拡大し、大型多段高圧ポンプの**製造から試運転を一貫して行うことが可能**となりました。
- 現地生産によるコスト競争力を有効に利用して**インドのみならず中東やアフリカ等への市場拡大も視野**に入れ、取り組んでいます。



DMWインド社 プネ工場全景



大型多段高圧ポンプ

風水力機械市場でのシェア拡大

競争優位製品の積極的な提案営業の実施

■ 特徴

当社の主力製品であるアルミ合金インペラ採用多段ターボブロワ（AM-Turbo®）は、**回転体の質量を大幅に削減**した高効率型のブロワです。

これまで必要としていた補助機械を不要とすることが可能であり、保守費用と**CO₂削減に寄与**しています。

■ 納入実績

海外の石油精製プラント向けの受注も増加しており、累計受注台数は、2011年度に初号機を納入して以来、**国内・海外含め100台を超えています。**



AM-Turbo®

（第38回（平成29年度）優秀省エネルギー機器経済産業大臣賞受賞）

安全・安心で働きやすい職場環境づくり

健康経営優良法人2025(大規模法人部門) の認定取得

- 当社は、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において、2024年度に引き続き**2年連続で「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に認定**されました。



職場環境創造・女性活躍プロジェクト

- 2022年度に職場環境創造・女性活躍プロジェクトを立ち上げ、**女性ならではの視点から職場環境の改善**等に継続して取り組んでいます。



女性の健康講座の様子

環境負荷低減に向けたものづくりの事業体制確立

水処理設備用エネルギー回収装置DeROs-E™ 発売

【エネルギー回収効率98%以上、CO₂削減に貢献】

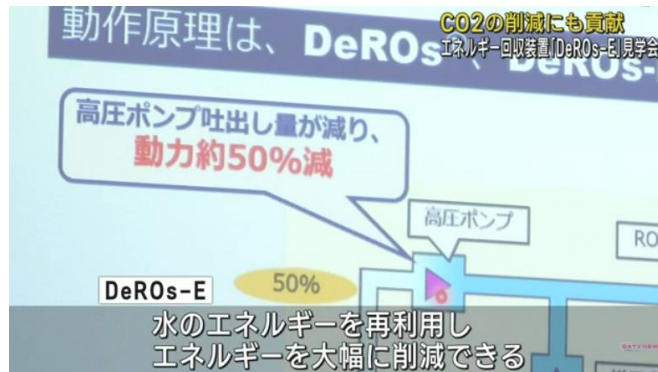
効 果

- RO膜を用いた水処理技術は、温室効果ガス排出量削減の有効な手段として急速に広まっています。
DeROs-E™は、**RO膜を用いた水処理設備の運用コストとCO₂排出量削減に貢献**します。

静岡朝日テレビのニュースで紹介されました



静岡朝日テレビのYouTubeチャンネル
<https://www.dmw.co.jp/news/2025/1124/>



DMW Corporation, All right reserved

今後の展望

- DeROs-E™は、**ポンプ、送風機に次ぐ主力製品として、半導体分野、純水（超純水）製造プロセスの他、下水処理などRO膜を使用する国内外の様々な用途に展開**していきます。



当社製品のリリース
<https://www.dmw.co.jp/news/2024/1039/>

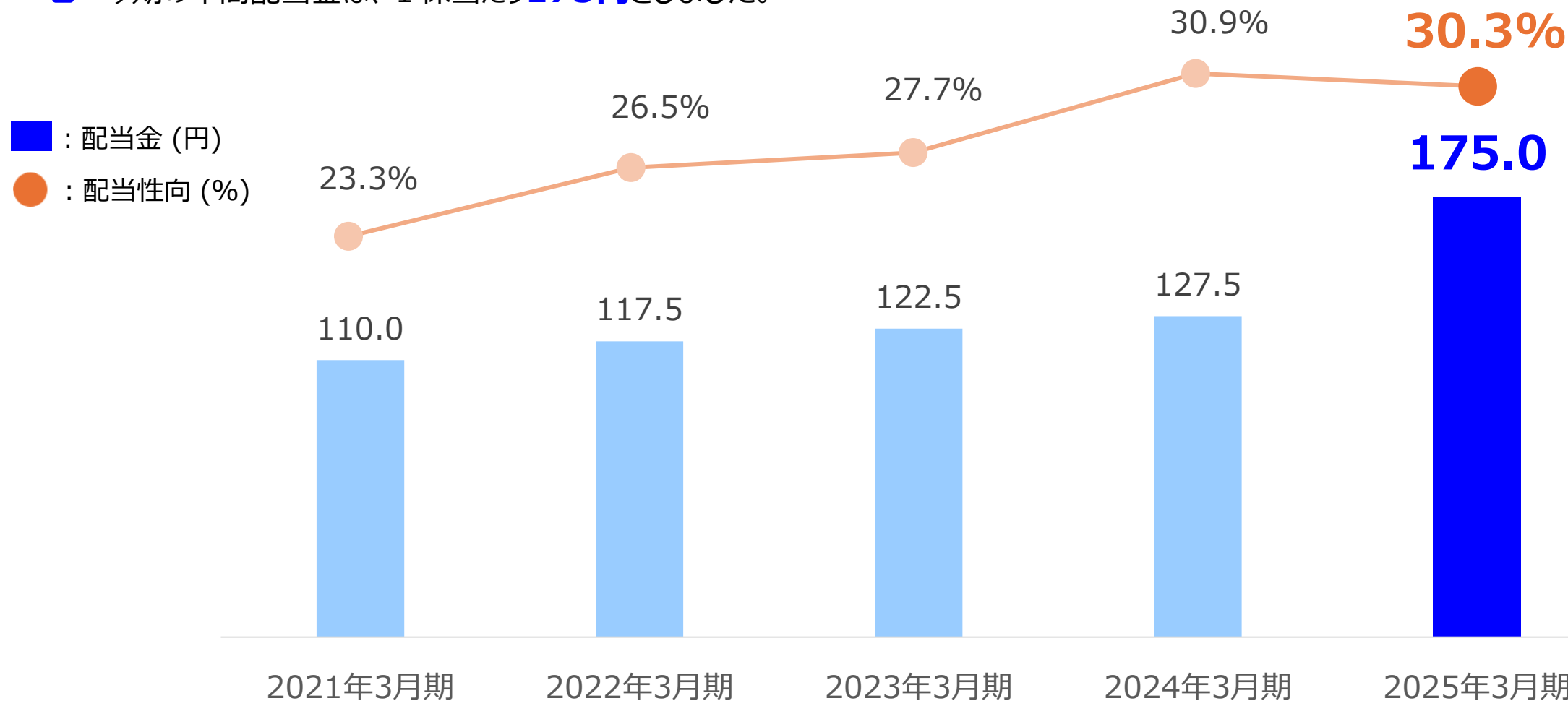
4 株主還元





株主様への還元

- 中期経営計画2025において、**配当性向の目標を30%**としています。
- 今期の年間配当金は、1株当たり**175円**としました。



- 株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、より多くの株主様に保有していただくことを目的として、株主優待制度を実施しております。この度、当社株式の投資魅力を一層高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的として、**株主優待制度を拡充（長期保有株主優待の追加）**しました。

- 株主優待制度変更の内容

保有株式数	保有期間	優待内容	基準日
100 株以上 300 株未満	3 年未満	1,500 円相当の静岡県産新茶	3 月末日
	3 年以上 *1)	1,500 円相当の静岡県産新茶および QUO カード 1,000 円分	
300 株以上	3 年未満	3,000 円相当の静岡県産新茶	
	3 年以上 *2)	3,000 円相当の静岡県産新茶および QUO カード 2,000 円分	



QUOカード

*1) 3年以上継続保有の株主様とは3月末日と9月末日の株主名簿に連続して7回以上、当社株式1単位（100株）以上を同一株主番号で記載または記録された株主様をいいます。

*2) 3年以上継続保有の株主様とは3月末日と9月末日の株主名簿に連続して7回以上、当社株式3単位（300株）以上を同一株主番号で記載または記録された株主様をいいます。

- 本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因（業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況などが含まれます）によって大きく異なる結果となる可能性があります。

■ お問い合わせ先

株式会社電業社機械製作所 サステナビリティ推進室

電話番号：055-975-8221

お問い合わせは、弊社ホームページの「お問い合わせ」よりご連絡ください。

(<https://www.dmw.co.jp/contact/input.html>)